



「全員留学」に向けての現在の展開 と課題：留学先地域特性の観点から



2015.7.8

国際部 国際教育企画課 兼 留学センター

眞谷国光



WASEDA University

イントロダクション



1. 早稲田大学のビジョン
2. 地域的観点からみた留学の展開
3. 留学推進における全体的課題



1. 早稲田大学のビジョン



【2014年度】

- 派遣：約3,300名
- 受入：約4,800名



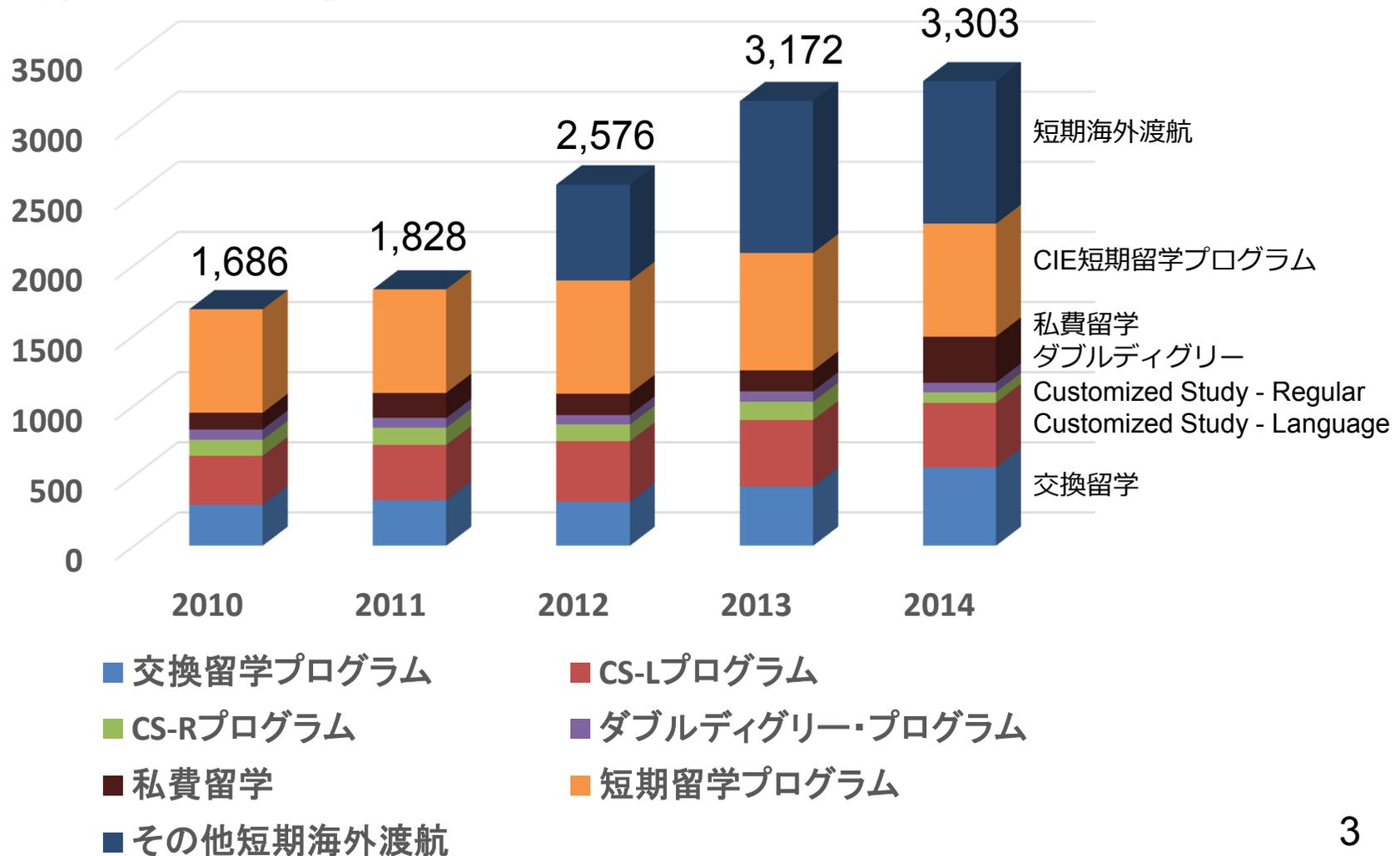
【長期目標 “*Vision 150*” 2032年⇒2022年】

- 派遣：9,000名（年間） **全員留学！**
- 受入：10,000名（全体の20%）

1. 早稲田大学のビジョン



海外留学者数の推移



1. 早稲田大学のビジョン



「留学推進」というけれど...

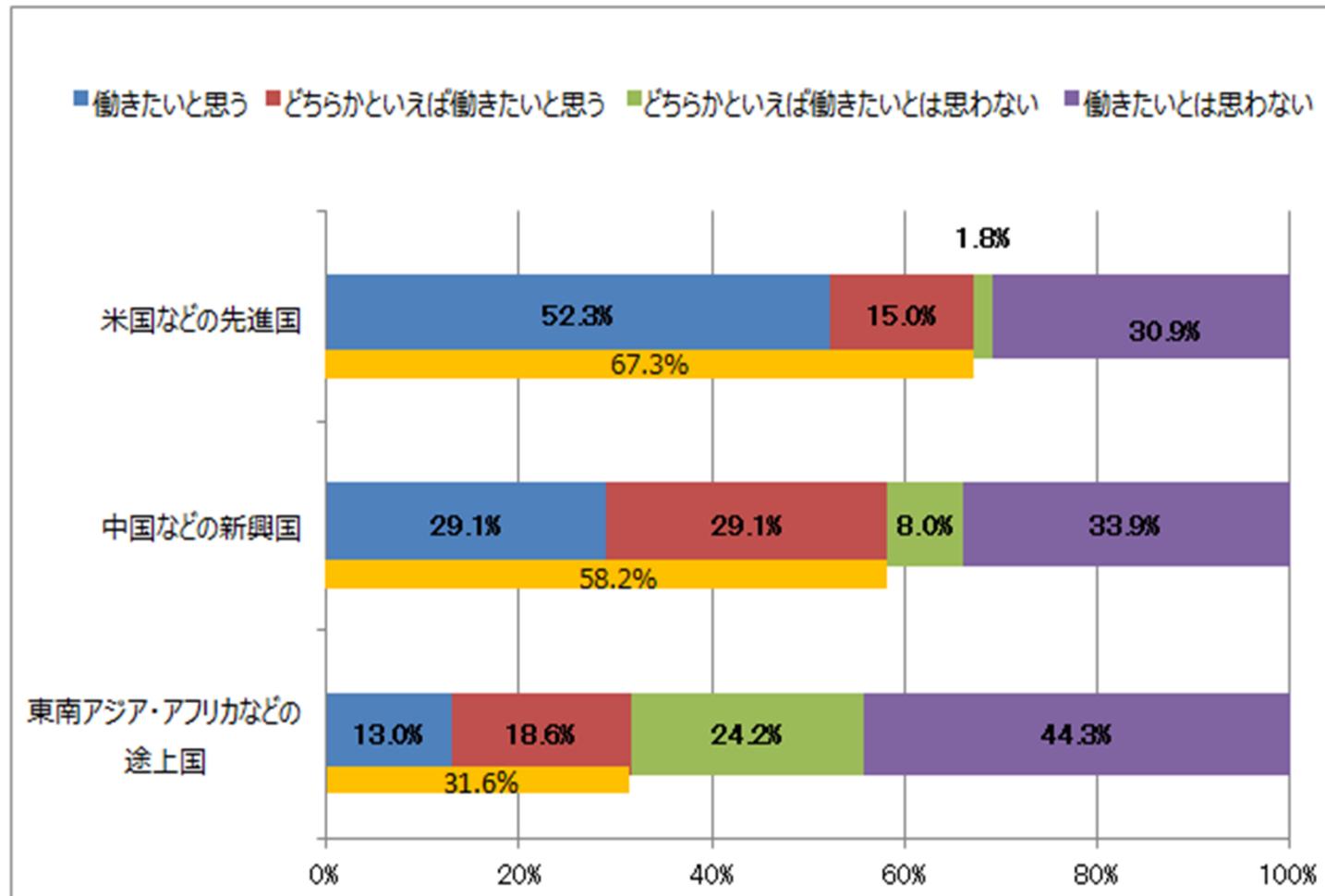
「どの国・地域に」

「いつ」

「どのようなプログラムを」

「どんな学生に」 推進？

2. 地域的観点からみた留学の展開

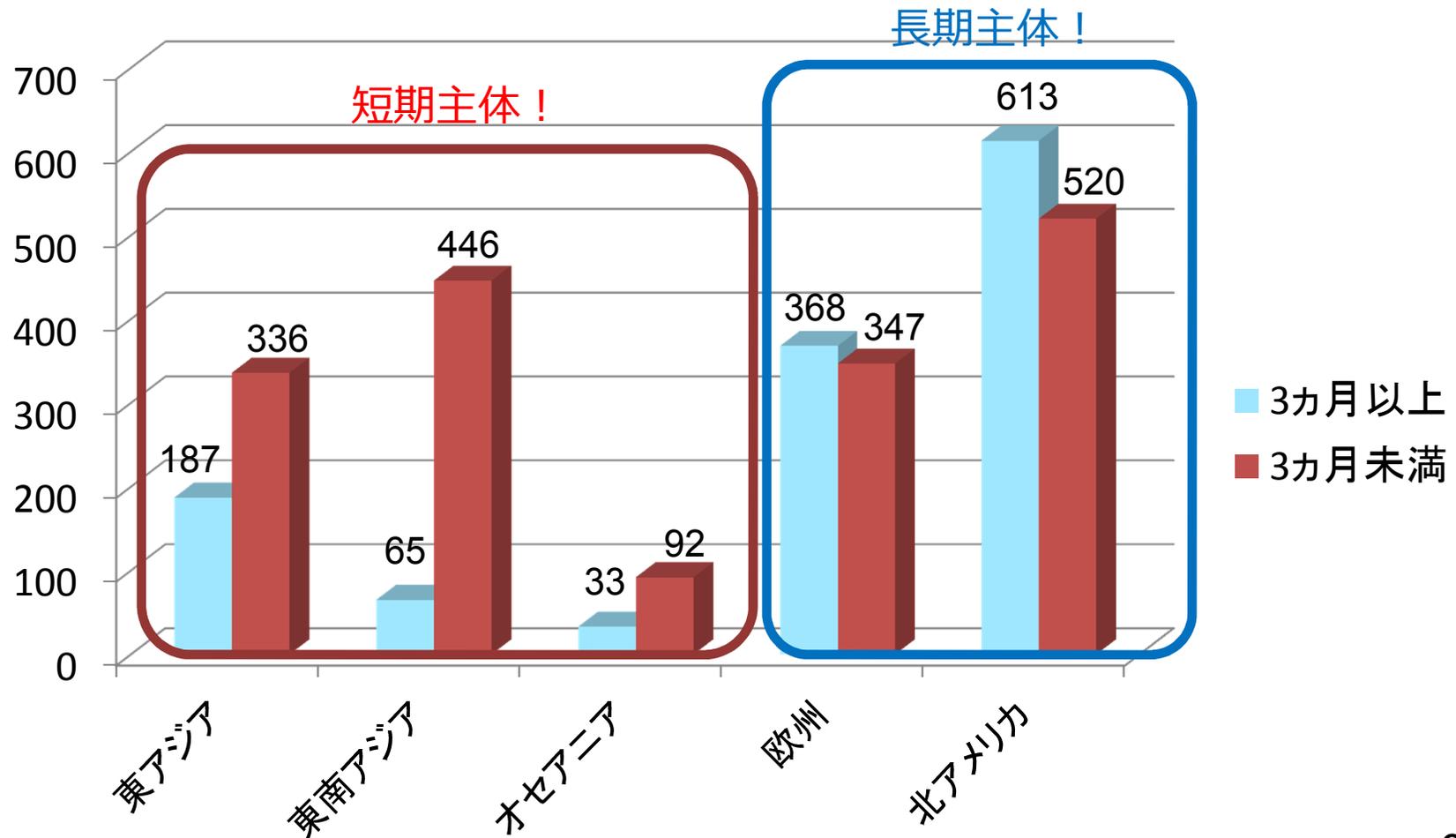


早大生のグローバル意識調査アンケート分析レポート(2012)

2. 地域的観点からみた留学の展開



2014年度 海外留学の地域別統計



2. 地域的観点からみた留学の展開



課題：

- 長期ではなかなか学生は留学しない
- 現地語か英語か、ニーズを見極める
- 費用は安く済むのでプログラム創りに注力

2. 地域的観点からみた留学の展開

ゴールデンウィーク 新入生国際教育導入プログラム

事前学習 4月
5回の授業



海外短期留学
(GW1週間)



事後学習 5月
3回の授業・
発表

プログラムの特徴

- 4月に入学したばかりの新入生を対象とした「気づき」のプログラム
- 留学のみならず、グループワーク、課題設定、発表等の前後学習あり
- 入学前に応募するため、他の「誘惑」が無い状況

マラヤ大学

ベトナム
国家大学
ハノイ校

台湾大学
(理工系)



2. 地域的観点からみた留学の展開

	①ベトナム		②マレーシア	
5/3 (日)	(朝) 羽田空港 発 (昼) ハノイ 着 オリエンテーション ベトナムの産業を知る(工房視察)	大学寮泊	(午前) 成田空港 発 (夕方) クアラルンプール 着 オリエンテーション	大学寮泊
5/4 (月)	ベトナム国家大学ハノイ校留学体験 ・ フィールドワーク(インタビュー)	大学寮泊	マラヤ大学留学体験	大学寮泊
5/5 (火)	世界遺産探索(ハロン湾) ・ フィールドワーク(インタビュー)	大学寮泊	首都クアラルンプール探索その1 ・ フィールドワーク(インタビュー)	大学寮泊
5/6 (水)	ハノイ市内北部視察 ・ フィールドワーク(インタビュー) 日系企業訪問	大学寮泊	首都クアラルンプール探索その2 ・ フィールドワーク(インタビュー)	大学寮泊
5/7 (木)	少数民族を知る ・ フィールドワーク(インタビュー)	ホームステイ	世界遺産 古都マラッカ探索 ・ フィールドワーク(インタビュー)	大学寮泊
5/8 (金)		大学寮泊	日系ハラール食品工場視察 パティック染め体験	大学寮泊
5/9 (土)	ハノイ市内視察 ・ フィールドワーク(インタビュー)	大学寮泊	カンボンステイ ・ フィールドワーク(インタビュー)	ホームステイ
5/10 (日)	ハノイから世界へ ・ フィールドワーク(インタビュー) (午後) ハノイ 発 (夜) 羽田空港 着	(帰着)	(深夜) クアラルンプール 発 (翌朝) 成田空港 着	機中泊

2. 地域的観点からみた留学の展開

③台湾

1日目	5月3日(日)	早朝 昼 午後 夜	羽田空港 発 台北松山空港 着 → 国立台湾 大学にてオリエンテーション キャンパスツアー 夜市にて夕食	大学側レジデンス 宿泊
2日目	5月4日(月)	午前 午後	コース概要説明 DIY Science (3D & Telescopes) 講義 NTU Museums 訪問 Research Center 訪問 天文学 講義	大学側レジデンス 宿泊
3日目	5月5日(火)	終日	溪頭天文エコツアー&天文台で徹夜観測 (フィールドワーク)	天文台泊
4日目	5月6日(水)	午前 午後	溪頭天文エコツアー終了 Jiji 台湾地震博物館 訪問 (フィールドワーク)	大学側レジデンス 宿泊
5日目	5月7日(木)	午前 午後	化学、幾何学、芸術 講義 21世紀の生物学 講義	大学側レジデンス 宿泊
6日目	5月8日(金)	午前 午後	学生によるプレゼンテーション フェアウェルパーティー 故宮博物館 訪問	大学側レジデンス 宿泊
7日目	5月9日(土)	終日	早稲田大学台湾オフィス主催 観光、台湾の校友とのイベント	大学側レジデンス 宿泊
8日目	5月10日(日)	午前 午後 帰着	空港周辺の観光地 訪問 台北松山空港 発 羽田空港 着	

2. 地域的観点からみた留学の展開

Asian Students Environment Platform (ASEP)

アジアの学生が集い、環境保全や自然との共生のあり方についてフィールドトリップとディスカッションを通じて見識を広める場の創出を目的

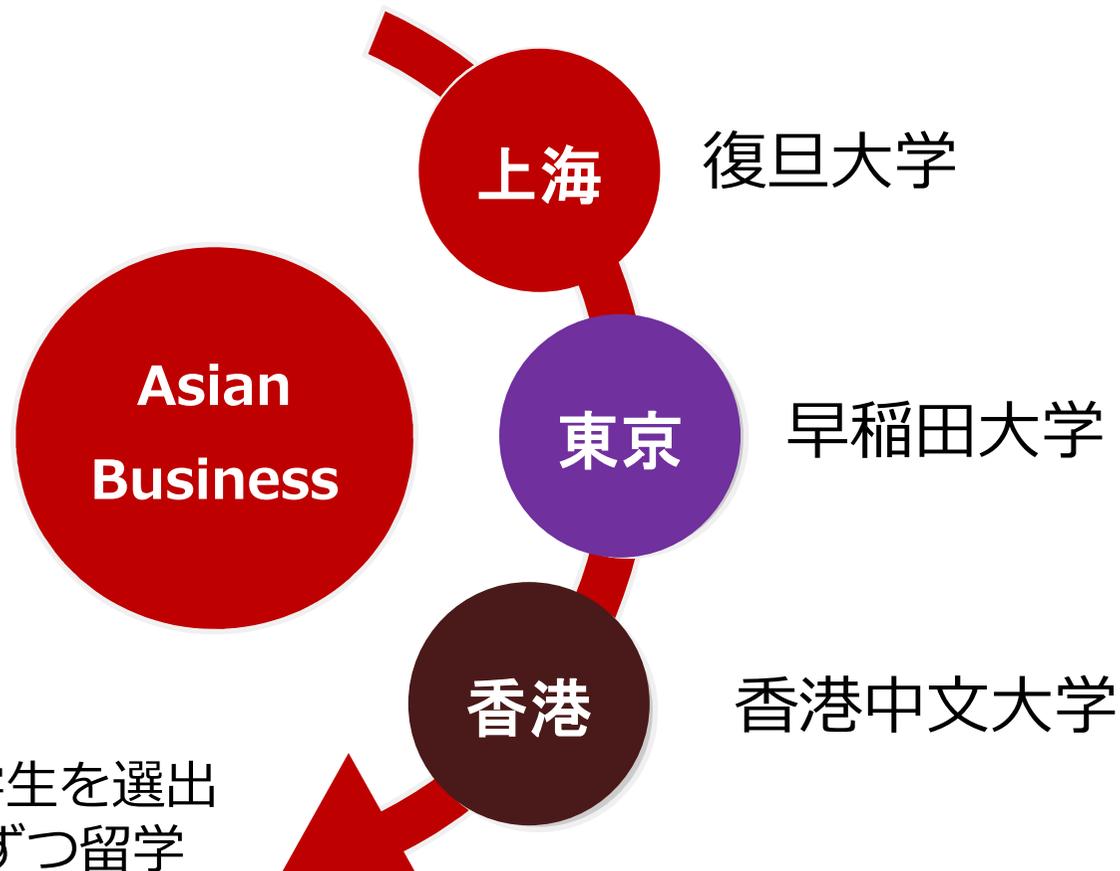


សាកលវិទ្យាល័យព្រះបរមរាជវាំង
Royal University of Phnom Penh



2. 地域的観点からみた留学の展開

Global College - Asian Business Studies



- ▶各大学から10名ずつ学生を選出
- ▶各大学に1セメスターずつ留学
- ▶企業とのコラボレーション

2. 地域的観点からみた留学の展開



課題：

- 長期留学のニーズが高く交換留学の枠が不足気味
- 半期留学のニーズもあるが春学期の時期が合わない
- 語学文化研修 + α プログラムの開発

2. 地域的観点からみた留学の展開

学部カリキュラムに合わせたコンテンツプログラム

基幹／創造／先進理工学部学生向けに・・・

大学	タイトル	期間
➤ カリフォルニア大学デイビス校 ➤ セントメアリーズ	English for Science purposes	4週間

★プログラムの特徴

- 英語を使いながら、サイエンスやテクノロジーに関する知識を学ぶ
- プログラムは4つのコースから成り、大学内の実験施設や地域の関連企業を訪問する
- シリコンバレーツアーも企画

2. 地域的観点からみた留学の展開

Global Leadership Fellows Program (GLFP)



Columbia University
Georgetown University
Johns Hopkins University
University of California, Berkeley
University of Washington
Dartmouth University



★プログラムの特徴

- 長期留学 + 留学後の1年間、米国留学生と共に『**日米共同ゼミ**』と『**学生フォーラム**』で世界的規模の課題に取り組む

2. 地域的観点からみた留学の展開



課題：

- イギリスビザのための英語要件の変更
- 非英語圏の現地語プログラムをどう推進するか
- 非英語圏の英語プログラムをどう推進するか

2. 地域的観点からみた留学の展開



非英語圏の現地語プログラム+インターンシップ

長期留学
(フランス、ドイツ)



インターン
シップ



★プログラムの特徴

- 英語以外の外国語プログラム（長期）の推進が目的
- 校友の繋がりから、主に日系企業でインターンシップ経験を積む
- 日本航空、ホテル・ニッコー、全日本空輸、みずほ銀行、スズキ・フランス、損保ジャパン日本興亜 等

2. 地域的観点からみた留学の展開



非英語圏の英語プログラム

英語プログラム

現地語（ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語等）

★プログラムの特徴

- カリキュラムは英語で、現地語科目も履修可能
- 生活圏は現地語なので英語＋現地語が伸びる
- 現地語は初級レベルからで良いため、参加しやすい



3. 留学推進における全体的課題



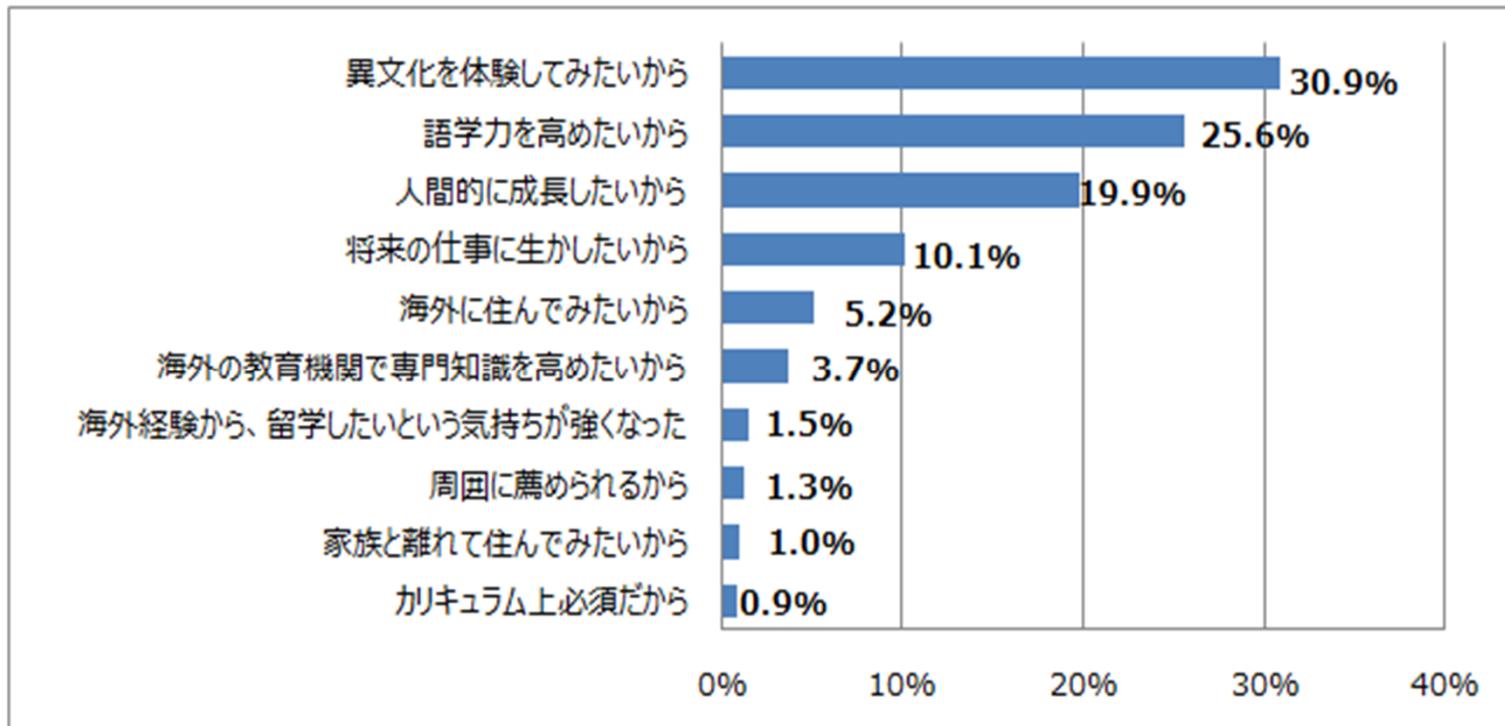
- 短期は、枠はあるが伸び悩み。就職活動の延期や円安等が原因か？
- 長期は、学費相互免除の交換留学へシフトさせたい。交換留学のバランスとしては、アジアは受入過多、欧米は派遣過多
- 各学部・研究科のニーズを捉えたプログラムの開発

3. 留学推進における課題



学生は、「自身の求めるもの」をはっきりわからない可能性がある...！？⇒ニーズを予測したプログラム開発の必要性

海外に滞在した（い）理由は何ですか。



早大生のグローバル意識調査アンケート分析レポート（2012）



ご清聴ありがとうございました